

D-mail

オフィスにOasisを



VOL. 34

今月のプレゼント
「コーヒーエコバッグ」を70名様に!
詳しくは本誌を読んで、インターネットで「ダイオース」を検索

オフィス川柳
募集中

コーヒーの淹れ方覚えた五十路過ぎ (群馬県 坂本様)

34号 PRESENT

コーヒー豆が入っていた
麻袋を使ったハンドメイドバッグ

「コーヒーエコバック」を
70名様にプレゼント!

【今号のクイズ】

日本で初めて出来た喫茶店の名前は?

1. かふえ茶房 2. 珈琲楼 3. 可否茶館

クイズの答えと①D-mailの号数(今号は34号)②会社名③会社ご住所④TEL⑤お名前⑥商品をお届けしている営業所名⑦担当者名⑧ご利用いただいている商品名⑨商品や「D-mail」に関するご意見・ご要望をお書きの上、官製ハガキ、当社ウェブサイト(<http://www.daiohs.com>)、または下記応募用紙を担当にお渡しなど、いずれかにてご応募ください。厳正なる抽選のうえ、当選された方には担当者が景品をお届けします。

宛先 105-6123 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル23階
(株)ダイオースサービス「D-mailプレゼント」係

締め切り 2010年11月24日消印まで有効

※お客さまからお寄せいただいた個人情報、プレゼントの抽選及び発送以外には利用いたしません。

前号クイズの答え▶Vol.33の答えは1の「トレッキング」でした。

皆様の声をダイオースにお聞かせください!!

D-mail Vol.34

●クイズの答え	●お名前
●貴社名	●担当営業所名
●貴社〒 ご住所	●ご利用頂いている ダイオースの商品
●商品や「D-mail」についての感想・要望・オフィス川柳	



地球環境にやさしい印刷
方法で作成されています

D-mail 第34号

発行所/株式会社ダイオースサービス
ダイオースOCSチェーン本部

発行日/2010.10.25

Daiohs

From User's Voice Mail

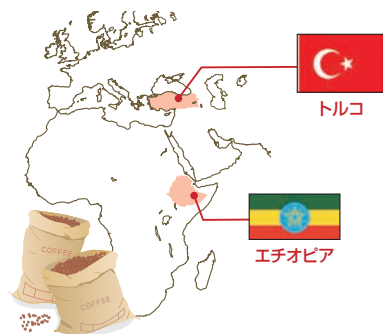
編集部へ寄せられた皆様からのお便りを紹介します

初 めてピュアウォーターを飲んだ時「ウソ、これおいしい」と思いました。毎日1.5リットル飲んでます。ヤセられるカナ? (福島県 水野様)
編集部▶社員の我々も、ピュアウォーターを飲んだ最初の一口はその美味しさにびっくり!でした。毎日飲めば安心と健康、そして美しさが手にはいる!...といいですよね(笑)。

水 って大事ですね。TVでライフラインがSTOPしている状況を見て、日頃何気なく使っている事に感謝です。ダイオースさんのお水は美味しいと聞いています。機会があれば飲んでみたい。(福島県 鈴木様)
編集部▶日常のありふれたことが、大切なものと気づくのは、実は困っているときかもしれませんね。ピュアウォーターは災害時でも重宝されております。

一 本のお電話でお試しいという事で、会社で飲んでみましたところ、便利でおいしいと社員の評判で、早速1年間使用することとなりました。夏は冷たいお水で、冬は温かいコーヒーやお茶などが飲めますので皆喜んでいます。(PW 3Gを利用中です) (福岡県 河内様)
編集部▶ダイオースのコーヒーや飲料の美味しさは、やはり飲んでみて実感していただくに限りません!お客様の喜びの声は、そのまま私たちの大きな喜びとなっています。どうぞこれからもご愛用くださいな!

朝 は家でコーヒーを飲む時間が無く、会社へ来からの目覚めの一杯が習慣になってしまいました。(福岡県 河内様)
編集部▶朝早くから満員電車で揉まれて通勤している皆様、忙しい朝をお迎えの皆様。ダイオースのコーヒーで気分爽快、今日も一日頑張ってください!!



トルコ

エチオピア

Break Time
第34回

いろんな淹れ方にびっくり?
世界のびっくりコーヒー

●飲んだ後の占いも楽しみ!
トルコ
1554年、世界で初めてコーヒーハウスが登場したトルコ。紅茶よりも古い歴史を持つコーヒーは、現在も昔ながらの方法で淹れられています。その淹れ方とは、小麦粉のように細かく挽いたコーヒー粉を、水と好みの量の砂糖と一緒に煮出して、カップに注ぐというシンブルなもの。飲む前にかき混ぜて、コーヒー粉が沈殿するのを待ち、上澄みだけをすすって飲みます。

このトルココーヒー、飲み終わった後はソーサーにカップをひっくり返して、カップの底に広がったコーヒー粉の模様が占いをするのが一般的。ト

●飲んだ後の占いも楽しみ!
エチオピア
これは、日本という茶道のようなもの。お客様をもてなすための大切な習慣で、冠婚葬祭などでよく行われ、エチオピアの女性の花嫁修業にもなっているそうです。生豆を煎るところから始まるこの儀式、コーヒーを飲み終えるまでには実に2時間がかかるのだそうです。

エスプレッソやペーパーフィルター、サイフォンなど、さまざまな淹れ方があるコーヒーですが、世界にはその国ならではの、さまざまな淹れ方の淹れ方があります。そこで今回はちょっと驚きうの淹れ方を紹介します。

2時間は長い!と思ったあなたに
ボタン一つで
エスプレッソが楽しめる
POD-1はいかがですか?



●コーヒーの儀式「カリオモン」
エチオピア
コーヒーが生まれた国、エチオピアには「カリオモン」と呼ばれる儀式があります。これは、日本という茶道のようなもの。お客様をもてなすための大切な習慣で、冠婚葬祭などでよく行われ、エチオピアの女性の花嫁修業にもなっているそうです。生豆を煎るところから始まるこの儀式、コーヒーを飲み終えるまでには実に2時間がかかるのだそうです。

トルコには専門の占い師もいるという淹れ方、試してみたいですね。